## 2019年2月17日(日曜日)の読売新聞に ベトナム実習生について掲載されました!

2019年(平成31年)2月17日(日曜日)

言曹

曹

亲斤

图

と2月から働き始めたユン・ティ・バッ・ 技能実習生として働くティエップさん(右) 夢見ながら、パンづくりに励む(那須塩原 トゥエットさん。2人とも母国での活躍を 巾のパン・アキモトで) ィエップさん(29)が慣れた手 店を持ちたい」と目を輝かせ 県内の外国人労働者数の推移 30000 25000 20000 15000 10000

-13 下

能実習生のグェン・ズィ・テ ン工房で13日、ベトナム人技 会社「パン・アキモト」のパ 那須塩原市のパン製造販売

得し、いずれは母国で自分の さに魅了されて」来日した。 つきで生地をこねていた。 いたが「日本のパンのおいし で家のドアを作る仕事をして 「パン職人としての技術を習 ティエップさんはベトナム

16 17 18年 2014 15 ※各年10月末時点。栃木労働局のまとめに基づく らに増えると見込まれてい 始まれば、外国人労働者はさ され、新たな在留資格制度が

とする「国際戦略推進本部」 は19年度、福田知事をトップ を新設する。従来の「縦割り」 こうした状況を受けて、県

5000

ン・アキモトでは、3年前か る。 ベトナムにも店舗がある。

が「国民健康保険料などの未

トでも、県内の自治体の多く した全国自治体首長アンケー 者も同じだ。読売新聞が実施

手探り状態は、

行政の担当

正出入国管理・難民認定法 年よりも3割近く増えた。改 多となった。特にティエップ 年々増加している。2018 は「実習生たちはとても貴重 れを始めた。現在は男女計3 らベトナム人実習生の受けて さんのような技能実習生は前 万4016人に上り、過去最 年10月末時点で前年同期比13 な即戦力」と高く評価する。 人が働く。秋元義彦社長(65) ・1% (2781人) 増の2 (入管難民法)が4月に施行 県内の外国人労働者の数は のか、手探り状態というとこ る一方、待遇や日常生活全般 でどのように対応したらいい 業側は受け入れ拡大を歓迎す

ける。 秋元社長も「正直なところ、 ろも多い。パン・アキモトの か、不安があった」と打ち明 習生が失踪してしまわない 賃金への不満などを理由に実

の調整を行う県独自の「外国 相談窓口や、企業と関係団体 働者を受け入れる企業向けの ズにするため、県は外国人労 人材コーディネーター」を設 企業側の受け入れをスムー

の予算を計上した。 年度の約400万円の約10倍 速化をはかる方針を打ち出し で、情報の集約化や対応の迅 にあたる、約4000万円も 文化共生事業費」として、18 た。「外国人材活用強化・多 での対応を改め、「各部横断 外国人労働者について、 企 いていることがうかがわれ 子供の教育」などに不安を抱 加入・未納増」や「外国人の このため県は、宇都宮市の

の生活について外国人から寄 続きや医療福祉など、日本で い取り組みが必要」と指摘す 任せにしないよう、国の手厚 業側に対する行政のサポート ついて、企業側の事情に詳し センター」を設置する。 的に多言語で対応する「多文 県国際交流協会内に、在留手 は不可欠だが、負担を自治体 い調査会社 化共生総合相談ワンストップ せられる様々な相談に、 外国人労働者の受け入れに (東京)の担当者は「企 「東京商工リサー 一元

県国際課の担当者は

い。支援態勢の整備を急ぎた 度のスタートまで時間はな い」と話している。 (この連載は鯨井政紀が担

ける考えだ。